

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：石井利男、岡元正史

● パウチ (Pouch)

毎日の生活でいつも身近にあって、お世話になっているものだけれど、あまり知られていない「パウチ」。
パウチはアルミ箔とプラスチックシートをラミネートしたもので、手軽にレトルト食品でも使われている。
アメリカ陸軍が、1950年代の始めに「缶詰」に代わるものとして開発した素材で、その後、NASA（アメリカ航空宇宙局）の宇宙食に採用された。日本でも、陸海空の自衛隊のレトルト食として、兵食に使われている。
民生用では世界で初めて、1968年に日本で家庭向けに便利なレトルト食品の「ボンカレー」が発売された。



● 海上自衛隊の兵食 (海ミリメシ)

海上自衛隊は、陸自や空自と比べて外洋遠距離演習で海外へ航海する機会が多い。寄港地では、当地の海軍の高官と艦上レセプションパーティを行うのが、国際儀礼（プロトコール）とされる。そのときに振る舞う食事はユネスコ遺産の「和食」ではなく、フレンチのフルコースがプロトコール。調理は海上自衛官の「給養員」。デザートは欧風スイーツ。世界のVIPたちを唸らせる海自パティシエの絶品の味。長い外洋航海から母港に帰還する前夜に海上自衛官へ供されるのが、給糧艦「間宮」由来で旧海軍から伝統の「入港ぜんざい」だという。

● 航空自衛隊の兵食 (空ミリメシ)

東宝映画「今日もわれ大空にあり」（1964年公開）。
航空自衛隊ブルーインパルスが撮影協力した、F-86セイバーが飛び交う航空映画。中学生の頃に、大スクリーンで飛び回るF-86をワクワクしながら観ていた。
映画の冒頭。三橋達也演じるブルーインパルスの隊長がオートバイで大疾走して、スピード違反で白バイに止められるシーンがある。のちにトム・クルーズが主演した「トップガン」の冒頭で、そのまま同じシーンが（ハリウッド映画のパクリ）。
航空自衛隊で、長時間、飛行し続ける対潜水艦哨戒機や輸送機などの乗員の兵食は、空自の給養員が調理した「機上食」（空の弁当）だそうだ。
さて航空自衛隊では、海上自衛隊の「海軍カレー」に対して、鶏の「唐揚げ」。
空自では、唐揚げを「空上げ（からあげ）」と呼ぶ。
「FLY（空を飛ぶ）→ FRY（油で揚げる）→ FRIDAY（金曜日）」の連想から、航空自衛隊では金曜日の兵食の定番は、鶏の「空上げ」である。

6月の定例会 参加者は、1日（木）14名、9日（金）16名+1名でした。

7月の定例会 6日（木）、14日（金）です。